

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2006年10月31日から無期限
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として大中華経済圏の株式に実質的に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主として、以下の投資信託証券に投資を行います。 <ul style="list-style-type: none">・アイルランド籍外国投資信託(米ドル建て)「Value Partners Ireland Fund ICAV - Value Partners Classic Equity Fund」・上場投資信託証券「iシェアーズ・コア 日本国債 ETF」
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・投資信託証券および短期金融商品以外には投資を行いません。・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として年2回決算時(毎年2月および8月の各25日、休業日の場合は翌営業日)に次の通り収益の分配を行う方針です。 <ol style="list-style-type: none">(1) 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。(2) 分配金額は、委託者が基準価額水準・市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないこともあります。(3) 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき運用を行います。

ディープリサーチ・ チャイナ・ファンド (愛称：翡翠探訪)

追加型投信／内外／資産複合

運用報告書(全体版)

第34期(決算日 2023年8月25日)

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ディープリサーチ・チャイナ・ファンド」は、2023年8月25日に第34期決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

東京都中央区入船1-2-9 八丁堀MFビル8階

照会先

ホームページアドレス：<https://www.fivestar-am.co.jp/>

お客様デスク：03-3553-8711

(受付時間：委託会社の営業日の午前9時～午後5時まで)

[運用報告書の表記について]

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率および騰落率は小数点第2位または小数点第2位未満を四捨五入しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値について小数表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

★最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
30期(2021年8月25日)	12,601	0	△9.3	97.0	315
31期(2022年2月25日)	10,908	0	△13.4	97.4	253
32期(2022年8月25日)	10,486	0	△3.9	98.6	243
33期(2023年2月27日)	10,129	0	△3.4	97.8	229
34期(2023年8月25日)	10,132	0	0.0	97.6	218

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みの数値です。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

★当期中の基準価額と市況等の推移

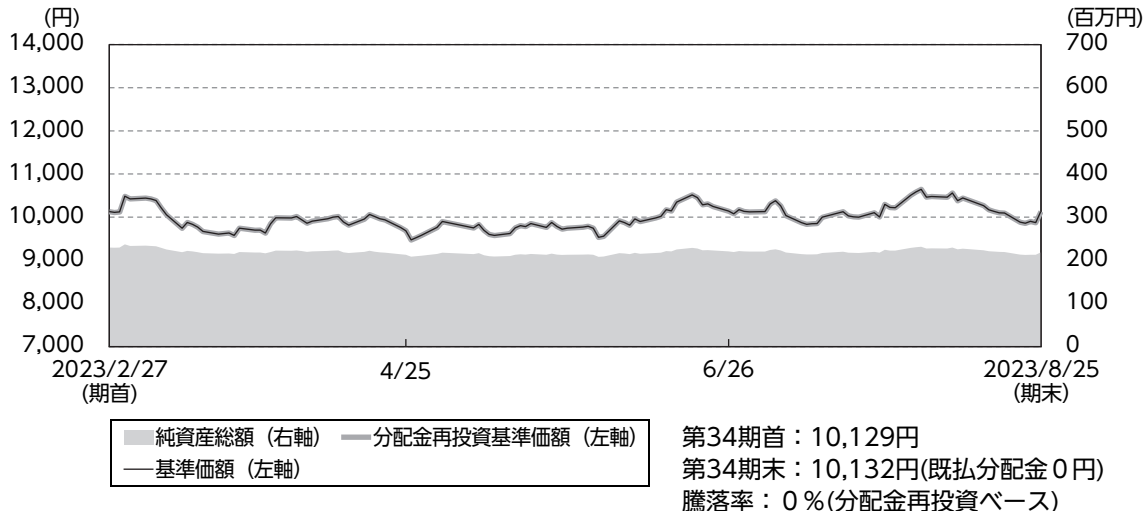
年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
		騰落率	
(期首)2023年2月27日	円 10,129	% —	% 97.8
2月末	10,111	△0.2	97.7
3月末	9,985	△1.4	99.7
4月末	9,580	△5.4	96.7
5月末	9,745	△3.8	97.7
6月末	10,122	△0.1	98.3
7月末	10,508	3.7	98.5
(期末)2023年8月25日	10,132	0.0	97.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

★運用経過

☆基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2023年2月27日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

☆基準価額の主な変動要因

(プラス要因)

- ・2023年6月：中国当局による、EV（電気自動車）の購入税減免措置の延長や不動産刺激策などの景気刺激策への期待が高まったほか、プリンケン米国務長官の訪中観測もリスク選好につながり、また、中国人民銀行が中期貸出制度金利（MLF）を引き下げたことで、貸出政策金利引き下げ期待の高まりなどが好感されたこと
- ・2023年7月：中国当局が電子製品の買い替えに補助金を出す政策などの個人消費の刺激策を発表し、また、中国の中央政治局会議で不動産政策や資本市場の活性化、為替安定などに関する内容を受け、特に「不動産は投資対象ではない」の常套句がなかったほか、地方債務問題に取り組む方針が示されたことが好感されたこと
- ・主な投資対象国の為替市場の当期初から当期末にかけての騰落率（全て対円騰落率とし、投資信託協会が公表する仲値を使用）は、米ドルが+7.30%の上昇、香港ドルが+7.37%の上昇となり、基準価額にはプラス寄与となりました。

(マイナス要因)

- ・2023年3月：10日に米国の新興企業向けに事業を展開するSVB（シリコン・バレー・バンク）ファイナンシャル・グループ社に続き、12日には暗号資産（仮想通貨）企業への融資が多いシグネチャー・バンク社と、相次ぐ米銀の経営破綻によって破綻の連鎖への警戒感が強まり、また、20日にクレディ・スイス・グループが発行する一部の債券（その他ティア1債＝AT1債とも呼ばれ、株式と債券の中間の性質を持った証券のひとつで、発行体の自己資本比率が一定の水準を下回った場合や監督当局の決定などにより、強制的に元本が削減されたり株式に転換されたりする特性がある）価値がゼロになるとスイス当局が発表したことで、欧米の金融システムに対する不安感が強まったことで世界的にリスク回避の動きが強まったこと
- ・2023年8月：中国の7月の製造業購買担当者景気指数（財新PMI）が49.2と、4月以来に景況改善・悪化の分かれ目となる50を割り込む悪化となり、景気先行き懸念が高まりました。また、中国不動産開発大手の碧桂園控股（カントリー・ガーデン・ホールディングス）が、資金繰り難を認めたことで不動産信用問題が再燃したこと

☆投資環境

(期初2023年2月28日～期末2023年8月25日)

当期における中国株式市場を代表する株価指数であるMSCIゴールデン・ドラゴン・トータル・ネット・リターン指数（USD ベース）の騰落率は、-4.13%の下落となりました。また、香港ハンセン指数（香港ドル・ベース）が-8.98%と、共に下落となりました。主な投資対象国の通貨の当期間における騰落率は、米ドルが+7.30%、香港ドルが+7.37%の上昇となりました。（※為替市場の表記は、対円騰落率とし、投資信託協会が公表する仲値を使用しています。）

当期における中国株式市場は、期初の3月は、中国の好調な経済指標を受けて景気回復が加速するとの期待感が高まり、また、今後の米金融政策に関して米FRB（連邦準備制度理事会）高官によるハト派な発言などを受けて米株高が上昇したことなどを好感し、上昇推移となりました。しかし、5日に開幕した中国の全人代（全国人民代表大会）では、2023年の経済成長率目標が保守的に設定され、大規模な景気刺激策への期待感が後退したことなどが重荷となり、上昇に勢いを欠く展開となりました。中旬には、米国のSVB（シリコン・バレー・バンク）ファイナンシャル・グループ社に続き、シグネチャー・バンク社と、米銀の相次ぐ経営破綻によって、金融システム不安が広がり、米国株を発端に世界的に株価が一時急落となりました。また、スイスの金融大手クレディ・スイス・グループの経営不安が重なったことも下落に拍車をかけました。その後、スイスの銀行大手UBSグループによるクレディ・スイス・グループの買収発表が迅速に行われたことや、米金融当局も経営不安に陥った金融機関への救済措置を迅速に進めるにつれて金融システム不安が後退し、月末にかけて、反発する推移となりました。4月は、前月に米地銀の相次ぐ経営破綻による金融不安を背景に慎重な値動きとなる中、上旬では、中国当局による産業支援への期待感が高まり、特にハイテク関連株が相場の上昇を牽引し、堅調な推移で始まりました。中国の好調な経済指標も相場上昇の追い風となりました。しかし、下旬には、米国政府がハイテク分野で新たな対中投資規制を実施するとの観測から下落に転じ、バイデン米大統領が、5月に開催されるG7サミット前後に、米国企業の対中投資制限の大統領令に署名する見通しと一部メディアが報じたことが嫌気されました。また、米国地銀を巡る金融不安が再燃したことなども重荷となりました。月末にかけては、好調な決算を発表した個別銘柄を物色する動

きが活発化し、相場を下支えする格好となりました。5月は、米地銀からの預金流出に伴う信用不安や、米FOMC（連邦公開市場委員会）での金利引き上げと年内の利下げ転換に否定的な会見内容などを受けて、上値の重い展開で始まりました。米債務上限問題の先行き不透明感が相場の重荷となる中、中国人民銀行が発表した4月の銀行貸出が事前予想を大きく下回り、中国の経済回復の鈍化が嫌気されました。また、中旬まで堅調に推移していた中国の電子商取引大手アリババ・グループ・ホールディングも、市場予想を下回る決算を発表したことから株価が下落し、投資家心理の悪化につながりました。一方で、半導体市況の回復期待の高まりから、半導体製造装置株などハイテク関連株が米国株を中心に世界的に株価が上昇しました。米国の半導体大手エヌビディア社の好決算を受けて、生成人工知能（AI）が市場の大きなテーマとなり、半導体・同製造装置セクターが物色され、中国本土株や香港株式市場が下落する中、ハイテク関連株の構成比率が高い台湾株式市場は大幅上昇と堅調な推移となりました。6月は、先進各国で相次ぐ金融引き締め動きに加え、米FRBが米FOMCでの利上げを見送るも今後の米FOMCで追加利上げの姿勢を示し、主要先進国における金融引き締め政策の継続とその長期化が懸念されたことが相場の重荷となりました。一方、中国当局による景気刺激策期待などが下支えとなり、中国本土株式市場は僅かに下落しました。月前半では、中国当局による景気刺激策への期待が高まったほか、プリンケン米國務長官の訪中観測もリスク選好につながり、また、中国人民銀行の金融緩和期待が強まったことなどで、大幅な上昇となりました。しかし、個人消費の減速に加え、中国人民銀行が実質的な政策金利であるローンプライム金利（LPR）を引き下げても、下げ幅が事前の市場予想には届かなかったことなどが嫌気され、下落に転じました。7月は、6月の米CPI（消費者物価指数）が市場予想よりも鈍化したことが好感され、米国の金融引き締め長期化懸念が後退したことや、中国当局が個人消費の刺激策を発表し、また、中国の中央政治局会議で不動産政策や資本市場の活性化、為替安定などに関する内容を受け、特に「不動産は投資対象ではない」の常套句がなかったほか、地方債務問題に取り組む方針が示されたことが好感されました。また、米国の景気後退を回避しつつインフレが沈静化すると期待感の高まりなどで米国株が大幅に上昇したこと好感されました。8月は、中国の景気後退懸念や不動産の信用問題の再燃に加え、フィッチ（格付け会社フィッチ・レーティングス）が米国債格付けを引き下げたことなどが相場の重荷となり下落しました。中国不動産開発大手の碧桂園控股（カントリー・ガーデン・ホールディングス）が、資金繰り難を認めたことで不動産信用問題が再燃し、不動産関連株が大幅な下落となりました。加えて、米国債の格付けが引き下げられたことにより、世界的にリスク回避の動きが強まったことも重荷となりました。下旬には、中国の大手銀行が既存の住宅ローン金利の引き下げ検討報道などを好感し、当期末にかけては、やや反発する推移となりました。

☆当該投資信託のポートフォリオ

○当ファンド

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。アイルランド籍の「Value Partners Ireland Fund ICAV - Value Partners Classic Equity Fund」と「i シェアーズ・コア 日本国債 ETF」の2つの投資信託証券を主要投資対象とし、期を通して、運用方針に定める基本資産配分比率を維持して運用を行いました。期末時点で、「Value Partners Ireland Fund ICAV - Value Partners Classic Equity Fund」の組入比率は95.9%、「i シェアーズ・コア 日本国債 ETF」の組入比率は1.7%となりました。

○Value Partners Ireland Fund ICAV - Value Partners Classic Equity Fund

バリュー・パートナーズ・ホンコン・リミテッドが運用するValue Partners Ireland Fund ICAV - Value Partners Classic Equity Fundへの投資を通じて、大中華圏（中国、香港、台湾等）の株式およびわが国の公社債への投資を行いました。企業の財務諸表の分析によるだけではなく、実際に企業を訪問し、その工場、生産ライン、製品、販売先等の実地調査を徹底的に行うことにより、「優良でありながら、市場に認知されておらず、割安に放置されている企業」を発掘し、企業訪問は自社アナリストにより行われ、その企業数は年間約2,500社に及ぶ中から本質的価値に焦点をあて、徹底的なリサーチに基づき、ポートフォリオへ組み入れる銘柄と比率を決定し運用を行いました。

○i シェアーズ・コア 日本国債 ETF

ブラックロック・ジャパン株式会社が運用するi シェアーズ・コア 日本国債 ETFへの投資を通じて、FTSE日本国債インデックス（日本の国債市場の値動きを表す指数）が採用する銘柄を投資対象に分散投資を行い、FTSE日本国債インデックスへの動きに高位に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

☆当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

☆分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配金は見送らせていただきました。なお、留保金の運用については特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第34期	
	2023年2月28日～2023年8月25日	
当期分配金 (円)		—
(対基準価額比率) (%)		(—)
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		4,708

(注1) 「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

★今後の運用方針

当ファンドは、今後も従来の運用方針を継続します。バリュー・パートナーズ・ホンコン・リミテッドが運用するValue Partners Ireland Fund ICAV - Value Partners Classic Equity Fundへの投資を通じて大中華圏(中国、香港、台湾等)の株式およびわが国の公社債への投資を行います。徹底的なリサーチに基づき、ポートフォリオへ組み入れる銘柄と比率を決定し運用を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。基本資産配分比率は、原則として、Value Partners Ireland Fund ICAV - Value Partners Classic Equity Fundへ90%以上の組入れ、i シェアーズ・コア 日本国債 ETFへ10%未満の組入れですが、マイナス金利などの低金利の環境下においては積極的にValue Partners Ireland Fund ICAV - Value Partners Classic Equity Fundへの組入れ比率を高める方針です。

★1 万口当たりの費用明細

項目	第34期		項目の概要
	(2023年2月28日～2023年8月25日)		
	金額(円)	比率(%)	
(a) 信託報酬	66	0.66	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,009円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(31)	(0.31)	
(販売会社)	(32)	(0.32)	
(受託会社)	(3)	(0.03)	
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{〔期中の売買委託手数料〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(ー)	(ー)	
(投資証券)	(ー)	(ー)	
(新株予約権証券)	(ー)	(ー)	
(先物オプション)	(ー)	(ー)	
(信用)	(ー)	(ー)	
(投資信託受益証券)	(ー)	(ー)	
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{〔期中の有価証券取引税〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(ー)	(ー)	
(投資証券)	(ー)	(ー)	
(新株予約権証券)	(ー)	(ー)	
(先物オプション)	(ー)	(ー)	
(信用)	(ー)	(ー)	
(投資信託受益証券)	(ー)	(ー)	
(d) その他費用	53	0.53	(d) その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、交付目論見書・交付運用報告書等の作成・印刷・送付に係る費用 その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料
(保管費用)	(0)	(0.00)	
(監査費用)	(22)	(0.22)	
(印刷費用)	(31)	(0.31)	
(その他)	(0)	(0.00)	
合計	119	1.19	

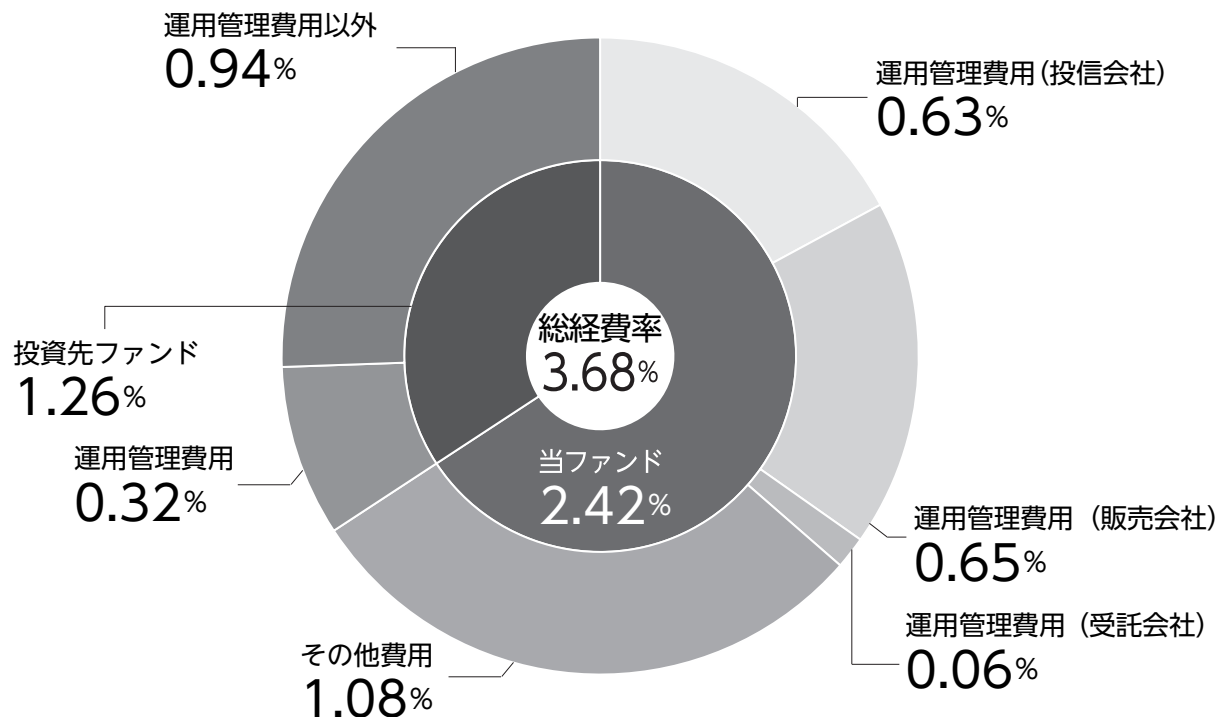
(注1) 期中の費用(消費税にかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
また、各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.68%です。



総経費率 (①+②+③)	3.68%
①当ファンドの費用の比率	2.42%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.32%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.94%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

★売買および取引の状況（2023年2月28日～2023年8月25日）

投資信託受益証券、投資証券

銘柄名		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国 (アイルランド)	Value Partners Classic Equity Fund	口 —	千米ドル —	口 5,776	千米ドル 100

(注) 金額は受渡代金。

★主要な売買銘柄（2023年2月28日～2023年8月25日）

投資信託受益証券、投資証券

当期					
買付			売付		
銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額
—	口 —	千円 —	Value Partners Classic Equity Fund	口 5,776	千円 13,775

(注) 金額は受渡代金。

★利害関係人との取引状況等（2023年2月28日～2023年8月25日）

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

★自社による当ファンドの設定・解約状況（2023年2月28日～2023年8月25日）

該当事項はございません。

★組入資産の明細（2023年8月25日現在）

国内投資信託受益証券、投資証券

銘柄	前期末	当期末	
	口数	口数	評価額
iシェアーズ・コア 日本国債 ETF	口 1,500	口 1,500	千円 3,699
合計	口数・金額 1,500	1,500	3,699
	銘柄数〈比率〉	1	<1.7%〉

(注) 比率欄は純資産に対する比率です。

外国投資信託受益証券、投資証券

銘柄	前期末 口数	当期末 口数	当期末 評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アイルランド) Value Partners Classic Equity Fund	口 91,745	口 85,968	千米ドル 1,432	千円 209,422
合計	口数・金額 91,745	85,968	1,432	209,422
	銘柄数〈比率〉	1	—	<95.9%〉

(注1) 比率欄は純資産に対する比率です。

(注2) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお8月25日における邦貨換算レートは、1米ドル=146.22円です。

★有価証券の貸付及び借入の状況（2023年8月25日現在）

該当事項はございません。

★投資信託財産の構成（2023年8月25日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 3,699	% 1.7
投資証券	209,422	93.7
コールローン等、その他	10,290	4.6
投資信託財産総額	223,411	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお8月25日における邦貨換算レートは、1米ドル=146.22円です。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(213,808千円)の投資信託財産総額(223,411千円)に対する比率は95.7%です。

★資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年8月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	223,411,313円
コール・ローン等	10,290,200
投資証券	209,422,113
投資信託受益証券	3,699,000
(B) 負債	4,973,578
未払解約金	2,334,922
未払信託報酬	1,455,023
その他未払費用	1,183,633
(C) 純資産総額(A-B)	218,437,735
元本	215,594,834
次期繰越損益金	2,842,901
(D) 受益権総口数	215,594,834口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,132円

(注1) 当ファンドの期首元本額は226,500,196円、期中追加設定元本額は7,357,001円、期中一部解約元本額は18,262,363円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1.0132円です。

(注3) 当運用報告書作成時点では監査未了です。

★損益の状況

(2023年2月28日～2023年8月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	14,737円
受取配当金	14,734
受取利息	3
(B) 有価証券売買損益	2,849,235
売買益	15,619,610
売買損	△12,770,375
(C) 信託報酬等	△2,643,871
(D) 当期損益金(A+B+C)	220,101
(E) 前期繰越損益金	△23,376,187
(F) 追加信託差損益金	25,998,987
(配当等相当額)	62,104,669
(売買損益相当額)	△36,105,682
(G) 合計(D+E+F)	2,842,901
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	2,842,901
追加信託差損益金	25,998,987
(配当等相当額)	62,104,669
(売買損益相当額)	△36,105,682
分配準備積立金	39,413,247
繰越損益金	△62,569,333

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当運用報告書作成時点では監査未了です。

(注5) 分配金の計算過程

項目	当期
費用控除後の配当等収益額	1,253円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	-
収益調整金	62,104,669
分配準備積立金	39,411,994
当ファンドの分配対象収益額	101,517,916
当ファンドの期末残存口数	215,594,834口
1万口当たり収益分配対象額	4,708.73円
1万口当たり分配金額	-
収益分配金金額	-

★お知らせ

該当事項はございません。

★分配金のお知らせ

決算期	第34期
1万口当たり分配金（税込み）	0円

◇分配金をお支払いする場合

- ・分配金は原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。

◇分配金を再投資する場合

- ・お手続き分配金は、決算日の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたします。

◇課税上の取扱いについて

- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。
- ・分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

◇受益者別の普通分配金に対する課税について

- ・個人の受益者：2014年1月1日以降は20.315%の税率
- ・法人の受益者：個人の受益者とは異なります。
- ・収益分配金のうち課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

税制改正等により、課税上の取扱い内容が変更になる場合があります。

課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家にご確認ください。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

Value Partners Ireland Fund ICAV – Value Partners Classic Equity Fund

投資明細表

2022年12月31日現在

銘柄	株数	公正価値 米ドル	純資産に 占める割合 (%)
株式 — 93.28%			
中国 — 18.33%			
China Merchants Bank Co Ltd A SHARES (SHHK)	67,600	364,528	3.42%
East Money Information Co Ltd A SHARES (SZHK)	187,121	525,370	4.92%
Inner Mongolia Yili Industrial Group Co Ltd A SHARES (SHHK)	2,151	9,650	0.09%
Kweichow Moutai Co Ltd A SHARES (SHHK)	2,638	659,338	6.18%
Luxshare Precision Industry Co Ltd A SHARES (SZHK)	18,930	86,983	0.81%
Luzhou Laojiao Co Ltd A SHARES (SZHK)	400	12,983	0.12%
Maxscend Microelectronics Co Ltd A SHARES (SZHK)	1,900	31,430	0.29%
Ping An Bank Co Ltd A SHARES (SZHK)	11,172	21,278	0.20%
Shenzhen Mindray Bio-Medical Electronics Co Ltd A SHARES (SZHK)	1,300	59,447	0.56%
Wuliangye Yibin Co Ltd A SHARES (SZHK)	4,200	109,831	1.03%
WuXi AppTec Co Ltd A SHARES (SHHK)	6,488	76,057	0.71%
		1,956,895	18.33%
香港 — 52.39%			
AIA Group Ltd	58,800	654,703	6.13%
ANTA Sports Products Ltd	8,600	112,855	1.06%
Beijing Tong Ren Tang Chinese Medicine Co Ltd	189,000	277,840	2.60%
Chervon Holdings Ltd	23,900	131,983	1.24%
China Jinmao Holdings Group Ltd	636,000	137,061	1.28%
China Mengniu Dairy Co Ltd	52,000	236,132	2.21%
China Merchants Bank Co Ltd H SHARES	103,500	579,525	5.43%
China Mobile Ltd	27,500	182,554	1.71%
China Resources Beer (Holdings) Co Ltd	12,000	83,970	0.79%
China Telecom Corp Ltd H SHARES	946,000	372,544	3.49%
China Vanke Co Ltd H SHARES	42,000	85,124	0.80%
Chinasoft International Ltd	106,000	92,326	0.86%

投資明細表 (続き)

銘柄	株数	公正価値 米ドル	純資産に 占める割合 (%)
Chow Tai Fook Jewellery Group Ltd	56,400	115,178	1.08%
CNOOC Ltd	43,000	55,049	0.52%
Li Ning Co Ltd	30,000	260,722	2.44%
Luk Fook Holdings (International) Ltd	96,000	285,698	2.68%
Meituan	21,800	488,537	4.58%
Minsheng Education Group Co Ltd	834,000	53,491	0.50%
Ping An Insurance (Group) Co of China Ltd H SHARES	58,500	387,591	3.63%
Poly Property Services Co Ltd H SHARES	13,400	79,156	0.74%
SIIC Environment Holdings Ltd	2,204,000	299,685	2.81%
Tencent Holdings Ltd	9,100	389,884	3.65%
WuXi AppTec Co Ltd H SHARES	7,000	74,035	0.69%
Yum China Holdings Inc	2,791	157,171	1.47%
		5,592,814	52.39%
シンガポール — 0.28%			
First Resources Ltd	27,400	30,266	0.28%
		30,266	0.28%
台湾 — 15.74%			
Arcadyan Technology Corp	35,000	109,204	1.02%
Asia Vital Components Co Ltd	22,000	80,334	0.75%
Chunghwa Telecom Co Ltd	41,000	151,050	1.42%
King Slide Works Co Ltd	2,000	25,039	0.23%
MediaTek Inc	2,000	40,754	0.38%
Mega Financial Holding Co Ltd	60,925	60,285	0.56%
President Chain Store Corp	11,000	97,548	0.91%
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	60,000	877,347	8.22%
Wistron NeWeb Corp	37,000	94,575	0.89%
Wiwynn Corp	2,000	51,969	0.49%

投資明細表 (続き)

銘柄	株数	公正価値 米ドル	純資産に 占める割合 (%)
Zhen Ding Technology Holding Ltd	27,000	92,429	0.87%
		1,680,534	15.74%
米国 — 6.54%			
H World Group Ltd ADR	1,385	58,918	0.55%
Pinduoduo Inc ADR	7,406	601,071	5.63%
TAL Education Group ADR	5,222	38,329	0.36%
		698,318	6.54%
株式合計		9,958,827	93.28%
関連当事者に対する投資 —			
関連当事者に対する投資合計			
Pノート — 1.45%			
中国 — 1.45%			
CICC Financial Trading Ltd (Qi An Xin Technology Group Inc A SHARES) P-note 9/7/2024	16,209	154,656	1.45%
Pノート合計		154,656	1.45%

投資明細表（続き）

為替先渡契約* - 0.05%

決済日	買い	受取通貨	売り	引渡通貨	未実現利益	純資産に 占める割合 (%)
31/01/23	CHF	294,364	USD	(318,805)	1,281	0.01%
31/01/23	EUR	702,074	USD	(747,895)	3,997	0.04%
31/01/23	EUR	33,481	USD	(35,666)	191	0.00%
					5,469	0.05%
損益を通じて公定価値評価される金融資産					10,118,952	94.78%

為替先渡契約* - (0.22%)

決済日	買い	受取通貨	売り	引渡通貨	未実現利益	純資産に 占める割合 (%)
31/01/23	GBP	44,364	USD	(53,995)	(380)	0
31/01/23	GBP	2,774,497	USD	(3,376,751)	(23,749)	(0.22%)
					(24,129)	(0.22%)
現金および現金同等物					439,617	4.12%
流動資産（純額）					139,745	1.32%
投資主に帰属する純資産					10,674,185	100.00%

資産合計の内訳	純資産に 占める割合 (%)
(a) 公認証券取引所で上場しているまたは規制市場で取引されている譲渡可能証券	91.85%
(b) 規制市場で取り扱われている金融デリバティブ商品	1.43%
(c) 関連した基金への投資	0.05%
(d) その他の流動資産	6.67%
資産合計	100.00%

* 2022年12月31日現在、先渡契約の取引相手であるエイチエスビーシー・バンク・ピーエルシーはムーディーズからA1の格付を得ている。

財務諸表

2022年12月31日現在

Value Partners
Ireland Fund ICAV
– Value Partners
Classic Equity Fund
2022

(単位：米ドル)

流動資産

損益を通じて公正に評価した売買目的の金融資産	10,118,952
現金及び現金同等物	439,617
受取配当金	5,380
ブローカーからの支払い	257,434
株主からの支払い	0
その他資産	20,812

総資産合計

10,842,195

負債

損益を通じて公正に評価した売買目的の金融負債	(24,129)
ブローカーへの未払金	(51,687)
運用報酬手数料	(10,327)
成功報酬手数料	0
管理報酬手数料	(17,304)
預託費用手数料	(4,707)
振込手数料	(1,978)
その他の手数料	(57,878)

負債（投資主に帰属する純資産を除く）

(168,010)

投資主に帰属する純資産

10,674,185

包括利益計算書

2022年12月31日に終了した年度

	Value Partners Ireland Fund ICAV - Value Partners Classic Equity Fund 2022 (単位：米ドル)
投資収益	
受取利息	26,070
受取配当金	3,909,023
その他の収益	21,522
損益を通じて公正価値評価される金融資産および金融負債にかかる純利益または損失	<u>(86,418,138)</u>
投資収益合計	<u>(82,461,523)</u>
負債	
成功報酬	
投資運用報酬	(422,085)
管理報酬	(100,040)
預託費用	(24,881)
振込手数料	(9,478)
取引手数料	(788,302)
取締役報酬	(7,058)
その他費用	(317,304)
運用費用合計	<u>(1,669,148)</u>
源泉徴収税	<u>(349,327)</u>
運用による投資主に帰属する純資産の減少額	<u><u>(84,479,998)</u></u>

包括利益計算書に記載の利益または損失を除き当年度で認識された利益または損失はない。

●ファンド概要

ファンド名	i シェアーズ・コア 日本国債 ETF
投資方針・特色	<p>FTSE日本国債インデックスへの動きに高位に連動する投資成果を目指します。</p> <p>※1 FTSE日本国債インデックスは、日本銀行保有分及び財務省償還分を除いた、償還残存期間1年以上の日本国債を時価総額で加重平均した日本国債市場の値動きを表す債券インデックスです。</p> <p>※2 FTSE日本国債インデックスに対する著作権等の知的財産その他の一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。</p>
信託報酬	0.066% (税抜年率 0.06%)
委託会社	ブラックロック・ジャパン株式会社

★組入上位10銘柄

(2023年7月31日現在)

	銘柄名	業種	比率
			%
1	37 30年国債	財務省	0.97
2	370 10年国債	財務省	0.97
3	35 30年国債	財務省	0.87
4	33 30年国債	財務省	0.84
5	153 5年国債	財務省	0.81
6	158 5年国債	財務省	0.81
7	179 20年国債	財務省	0.81
8	36 30年国債	財務省	0.80
9	180 20年国債	財務省	0.79
10	15 40年国債	財務省	0.78
組入銘柄数			263 銘柄

★1万口当たりの費用明細

(2022年8月1日～2023年7月31日)

項目	比率
信託報酬 (税抜)	0.06%

(注1) 費用は、当期間中の口座の平均価額に、ファンドの年率換算された費用比率および当期間中の日数を乗じ、当年度の日数で除すことにより算出されています。

(注2) ファンドの純資産総額に対して年0.066% (税抜0.06%) の率を乗じて得た額。運用管理費用 (信託報酬) は毎計算期末、または信託終了時にファンドから支払われます。